

Bluetooth USB アダプタ
GW-BH02U

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用するとう誤動作や火災につながるおそれがあります。



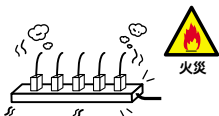
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

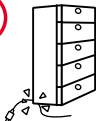
製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようしてください。

- コードの上に物を載せない
- 熱源の側にコードを置かない
- コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

ご使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解(アンテナ部分を含む)
- ・適合証明ラベルの剥離

- 1.本製品で使用する2.4GHz帯の周波数は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。

使用周波数帯域 ・ ・ ・ ・ ・ 2.4GHz

変調方式 ・ ・ ・ ・ ・ FH-SS方式

想定干渉距離 ・ ・ ・ ・ ・ 10m以下

- 2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用を中止してください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

目次

本製品を安全お使いいただくために	1
ご使用前にお読み下さい	3
第1章 はじめに	
1. 製品概要	6
2. 特長	7
3. 対応機種および対応OS	8
4. 梱包内容の確認	9
5. 各部の名称	10
第2章 インストール	
1. インストールの流れ	12
2. ユーティリティとドライバファイルのインストール	13
3. アダプタのコンピュータへの取り付け	21
4. ドライバのインストール	22
5. インストールの確認	30
6. ドライバ及びユーティリティのアンインストール	32
第3章 ユーティリティ	
1. ユーティリティの起動	37
2. デバイス	39
3. Bluetooth全体	44
4. Bluetooth接続の追加	46
5. Bluetoothデバイスの組み合わせ	49
6. Bluetooth設定	51

第4章 各サービスの使用方法

1. Bluetoothシリアルポート	67
2. ダイアルアップネットワーク	74
3. ネットワークアクセス	81
4. ファイル転送	94
5. ファックス	98
6. 情報交換	104
7. 情報の同期	108
付録A トラブルシューティング	111
付録B 製品仕様	113

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Ver.1.0

No.PCM-02-06-TN-GW-BH02U

1.はじめに

1.概要

Bluetooth技術とは、Bluetooth Special Interest Group (SIG)によって研究・開発が進められている技術の呼び名で、コンピュータやその他の周辺機器、および携帯電話をはじめとする家電機器の間を2.4GHz帯の無線周波数を利用して接続することができます。Bluetoothを使用する事で、簡単に意識する事無く様々な機器を接続することができる為、デバイスを問わないデータ交換を実現するインターフェイスとして期待されています。

本製品はBluetooth Ver1.1およびUSB Rev1.1に準拠したBluetooth USBアダプタで、USBポートをもつコンピュータにBluetoothインターフェイスを持たせることができます。本製品の通信距離は見通し距離で最大20mです。また通信速度は非対称型通信時で最大723.2Kbpsです。

2.特長

Bluetooth Ver1.1準拠

USB Rev1.1準拠

小型軽量で携帯性抜群

Bluetooth内蔵の携帯電話やコンピュータと接続可能

USBバスパワーで動作。ACアダプタなどの外部電源不要

プラグアンドプレイ対応

名刺交換やファイル交換等、7種類のサービスに対応

省電力

3.対応機種および対応OS

本製品の対応機種および対応OSは以下のようになっています。

< 対応機種 >

intel Pentium互換CPU 300MHz以上

メインメモリ128MB以上

上記を備えたPC/AT互換機

< 対応OS >

Windows 98 Second Edition

Windows Me

Windows 2000 Professional

Windows XP Home Edition/Professional

注意

Windows 98 Second Edition/Windows Me環境ではインストールされている仮想ポート(赤外線等)を含むCOMポートの総数が3以下である必要があります。4ポート以上のCOMポートがあるときは3以下になるように使用しないポートを無効にしてください。

USBポートを2つ以上持つコンピュータで使用するときは、必ずドライバをインストールした同じUSBポートで常にご使用ください。

Windows 2000環境ではAdministrator権限をもったユーザーでインストールしてください。

他のBluetooth機器や無線LAN等の他の無線方式を使用した機器がインストールされているコンピュータでご使用になるときは取り外しまたは機能を停止させてから本製品をご使用ください。

本製品のコンピュータへの接続はUSBハブを使用せずに必ずコンピュータへ直接接続してください。

4. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

GW-BH02U Bluetooth™ USBアダプタ
ドライバ&ユーティリティCD-ROM 1枚
クイックインストレーションマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

5.各部の名称

本製品にはコンピュータのUSBポートに接続するためのUSBコネクタと動作を示す2個のLEDを備えています。



図1-1 GW-BH02U上面図

「USBコネクタ」

本製品をコンピュータのUSBポートに接続するコネクタです。

「Power LED」

本製品に電源が供給されると点灯します。

「Link LED」

本製品が他のBluetoothデバイスと接続されると点灯します。

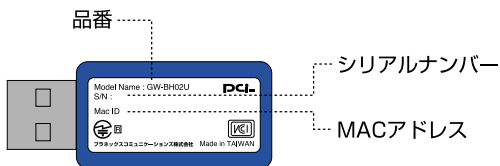


図1-2 GW-BH02U裏面図

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアルナンバー」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「MACアドレス」

本製品に固有のMACアドレスが記載されています。

2. インストール

本章ではコンピュータへのアダプタのインストール手順とインストールの確認およびドライバとユーティリティのアンインストールについて説明します。

1. インストールの流れ

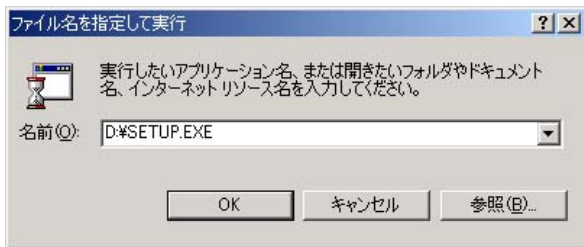
コンピュータへのアダプタのインストールは以下の手順で行います。

1. ユーティリティおよびドライバファイルのインストール(第2章 2.)
2. アダプタのコンピュータへの取り付け(第2章 3.)
3. ドライバのインストール(第2章 4.)
4. インストールの確認(第2章5.)

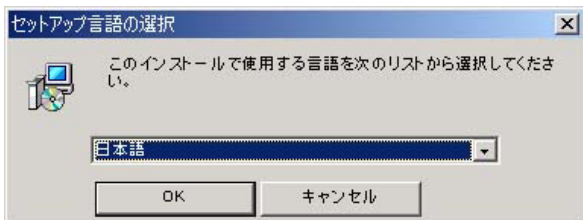
2.ユーティリティとドライバファイルのインストール

本製品をコンピュータに接続する前に必ずユーティリティとドライバをインストールしてください。

- 1.本製品に付属のドライバ&ユーティリティCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2.「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されるので「名前」に D:*SETUP.EXE と入力して「OK」ボタンをクリックします。



3. 「セットアップ言語の選択」ウィンドウが表示されるので「日本語」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



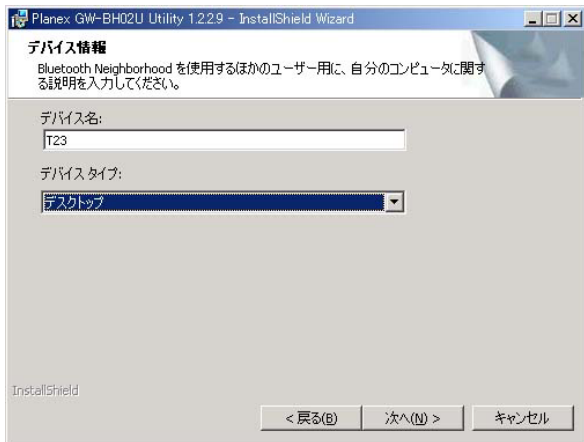
4. インストールウィザードが起動します。[次へ]ボタンをクリックしてください。



5. 「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



6. 「デバイス情報」ウィンドウが表示されます。ここでは使用するコンピュータの説明を入力します。ここで設定した説明は他のBluetooth機器に接続したときに表示されます。



・デバイス名

コンピュータの識別名です。他のBluetooth機器から接続されたときにユーザーが識別する為に使用します。任意の名称を入力してください。

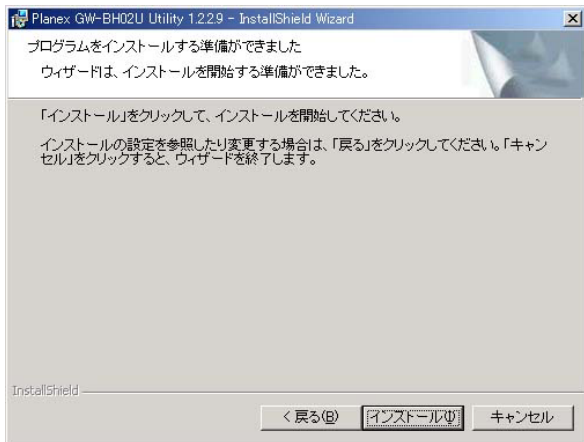
・デバイスタイプ

デスクトップまたはラップトップから選択します。デスクトップを選択したときは他のBluetooth機器から据え置きデスクトップコンピュータとして認識されます。ラップトップを選択したときは他のBluetooth機器から移動型のノートタイプコンピュータとして認識されます。

7. 「インストール先のフォルダ」を指定するウィンドウが表示されます。デフォルトでは C:\Program Files\Planex\Bluetooth Software\ になっています。インストールフォルダを変更しない場合には[次へ]ボタンをクリックしてください。インストールするフォルダを変更するときは[変更]ボタンをクリックして、インストール先のフォルダを指定してください。

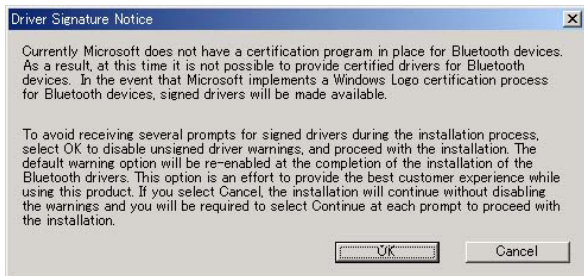


8. 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されます。[インストール]ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。



Windows 98 Second Editionではインストール中にWindows 98 Second EditionのCD-ROMを要求されるときがあります。CD-ROMを要求されたときは、Windows 98 Second EditionのCD-ROMに入れ替えて、ディレクトリ名を入力してください。(例:CD-ROMドライブがDドライブの場合は d:¥win98 と入力します。またWindows 98プリインストールのコンピュータでは c:¥windows¥options¥cabsと入力します。)

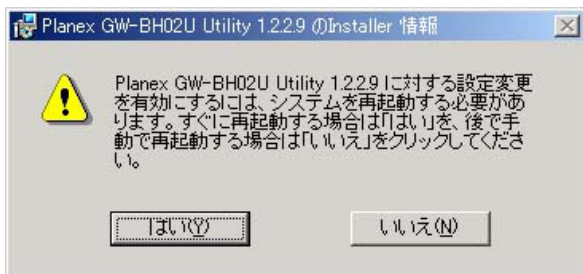
- 9.Windows 2000およびWindows XPではインストール中にWHQLに関する注意文が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



- 10.インストールが終了するとインストールウィザードの完了ウィンドウが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。



11. コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されます。
[はい]ボタンをクリックしてコンピュータの再起動をしてください。



3.アダプタのコンピュータへの取り付け

コンピュータの再起動が完了したら、本製品のUSBコネクタをコンピュータのUSBポートに接続します。コンピュータのUSBポートが複数ある場合は、なるべくコンピュータ本体の前面などの空間的に広い側にあるポートに取り付けることを推奨します。

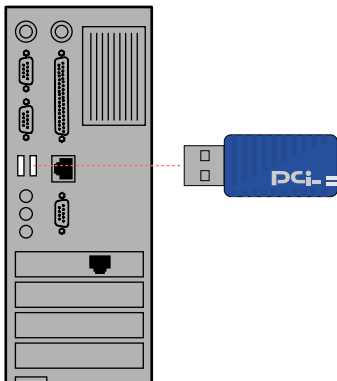


図2-1 USBポートへの取り付け

注意 本製品はUSBハブ経由での接続は保証しておりません。必ずコンピュータ本体に直接接続してください。

4. ドライバのインストール

本製品をコンピュータに接続すると、コンピュータからプラグアンドプレイで本製品が認識され、ドライバのインストールが開始されます。ご使用のOSのインストール手順にそってドライバをインストールしてください。

Windows 98 Second Edition

1. 本製品をコンピュータに接続するとプラグアンドプレイで認識され、ドライバのインストールが自動的に開始されます。
2. ドライバのインストール中にドライバディスク上のファイルを要求されるメッセージが表示されるときがあります。要求するメッセージが表示されたときは[OK]ボタンをクリックしてください。



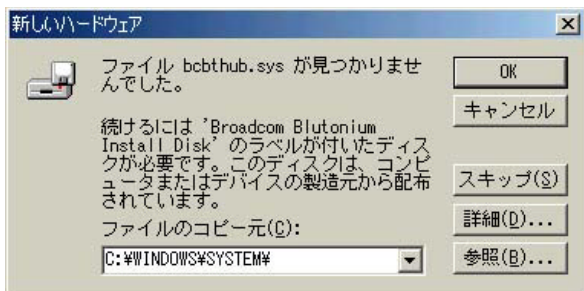
3. ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示されます。ファイルのコピー元に C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥ と入力して [OK] ボタンをクリックしてください。



4. ドライバがインストールされます。

Windows ME

- 1.本製品をコンピュータに接続するとプラグアンドプレイで認識され、ドライバのインストールが自動的に開始されます。
- 2.ドライバのインストール中にドライバディスク上のファイルを要求されるメッセージが表示されるときがあります。ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示されるので、ファイルのコピー元に C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥ と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。



- 3.ドライバがインストールされます。

Windows 2000

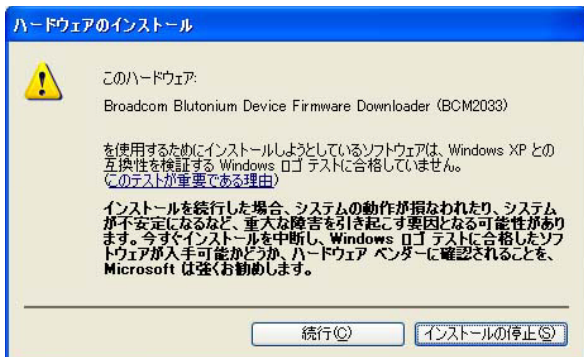
- 1.本製品をコンピュータに接続するとプラグアンドプレイで認識され、ドライバのインストールが自動的に行われます。

Windows XP

- 1.本製品をコンピュータに接続するとプラグアンドプレイで認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されます。
[次へ]ボタンをクリックしてください。



2. ドライバが自動的に検出され、インストールが開始されます。途中で「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されますが、「続行」をクリックします。

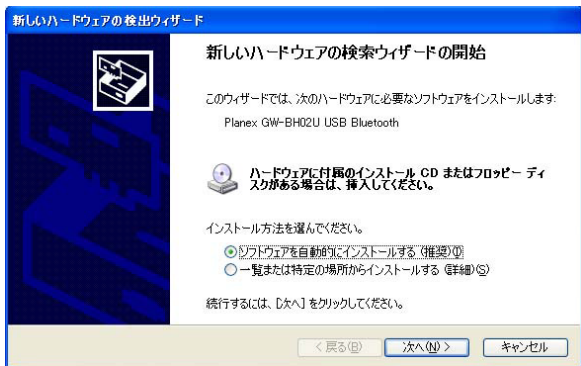


注意 2002年6月現在、Bluetooth用のMicrosoftのロゴプログラムが存在していません。このメッセージはロゴを取得していないときに表示されます。インストールしても問題はありませのでインストールを続けてください。

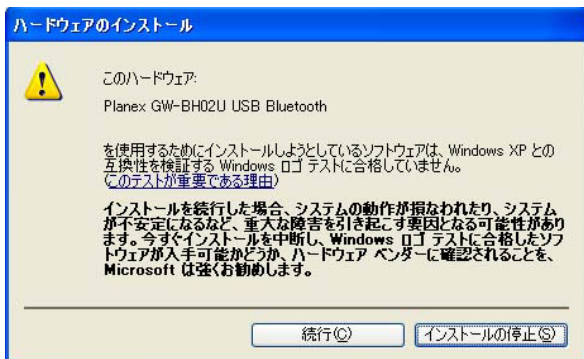
3. ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了]をクリックします。



4. 引き続き「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



5. ドライバが自動的に検出され、インストールが開始されます。途中で「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されますが、「続行」をクリックします。



注意 2002年6月現在、Bluetooth用のMicrosoftのロゴプログラムが存在していません。このメッセージはロゴを取得していないときに表示されます。インストールしても問題はありませのでインストールを続けてください。

6. ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了]をクリックします。

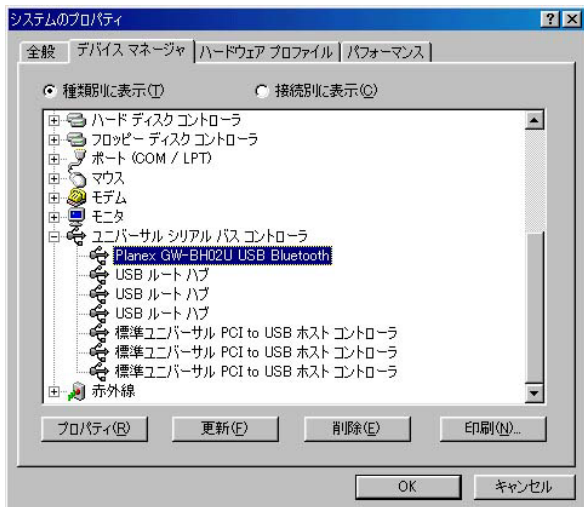


5. インストールの確認

ドライバのインストールが完了したら下記の手順でドライバが正常にインストールされていることを確認をして下さい。

1. [マイコンピュータ]をダブルクリックして開きます。そこから [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックして開きます。Windows XPでは [スタート]メニューからマイコンピュータを開きます。
2. コントロールパネルから [システム] アイコンをダブルクリックします。システムのプロパティが表示されます。
3. Windows 98 Second EditionおよびWindows Meでは [デバイスマネージャ] タブを開きます。Windows 2000およびWindows XPでは [デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

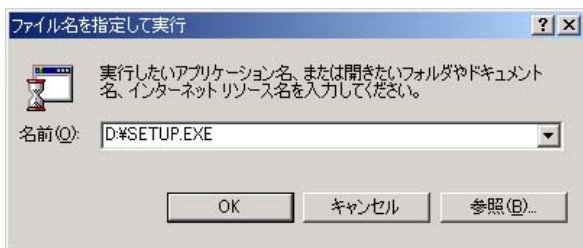
4. デバイスマネージャが開きます。ユニバーサルシリアルバスコントローラ (Universal Serial Controller) の左の + をクリックします。 [PLANEX GW-BH02U USB Bluetooth] が表示されていればインストールは完了です。表示されていない、またはアイコンに ? や ! のマークがついているときは第2章6.の手順でドライバとユーティリティを削除してから、第2章2.から4.の手順でもう一度インストールしてください。



6. ドライバおよびユーティリティのアンインストール

ドライバとユーティリティをアンインストールするときは下記の手順で行います。アンインストールを実行する前に必ず本製品をコンピュータから外してください。

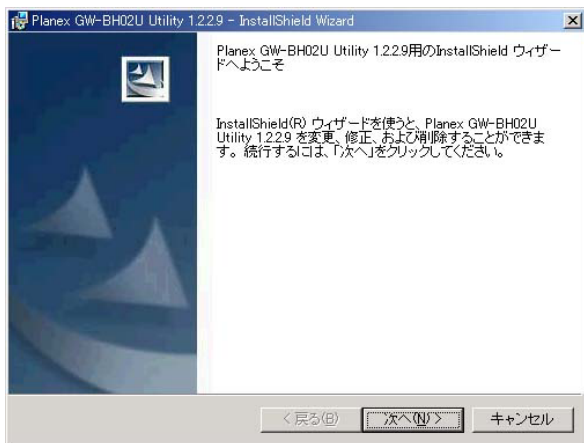
1. 本製品に付属のドライバ&ユーティリティCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
2. 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されるので「名前」に D:*SETUP.EXE と入力して「OK」ボタンをクリックします。



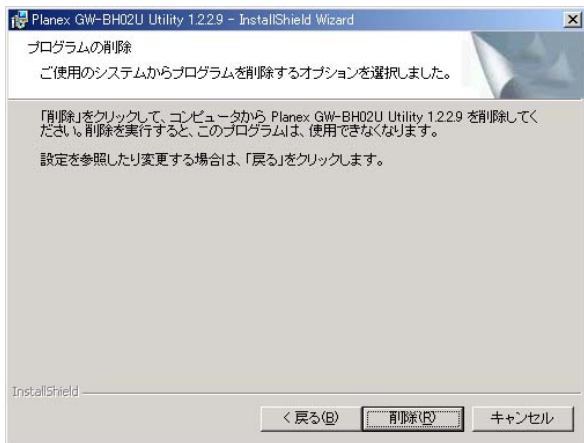
- 3.「セットアップ言語の選択」ウィンドウが表示されるので「日本語」を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



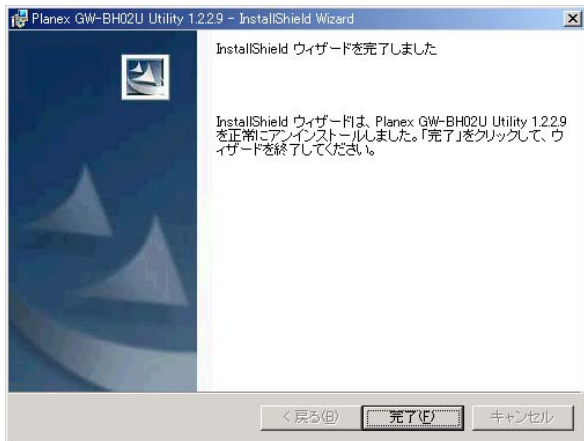
4. インストールウィザードが起動します。[次へ]ボタンをクリックしてください。



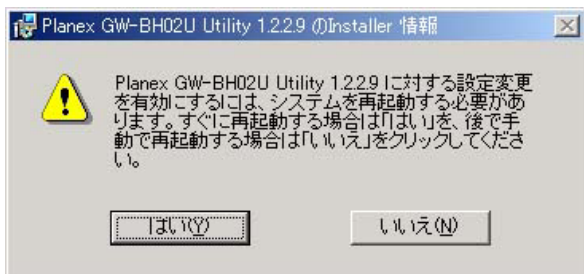
5. プログラムの削除ウィンドウが表示されます。[削除] ボタンをクリックしてください。ユーティリティとドライバの削除が始まります。



6. インストールウィザードの完了ウィンドウが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。



- 7.コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されます。
[はい]ボタンをクリックしてコンピュータの再起動をしてください。ドライバとユーティリティのアンインストールが完了します。

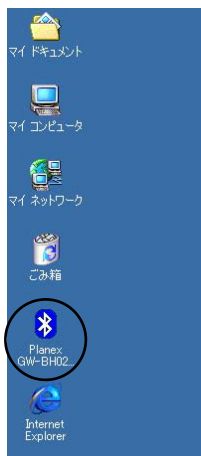


3. ユーティリティ

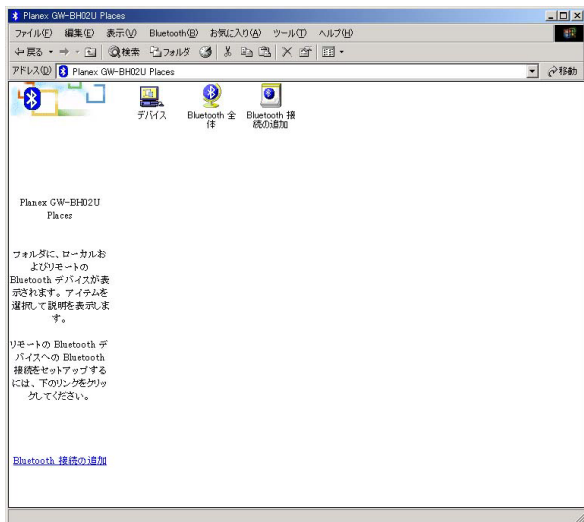
本章ではユーティリティの使用方法について説明します。

1. ユーティリティの起動

1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



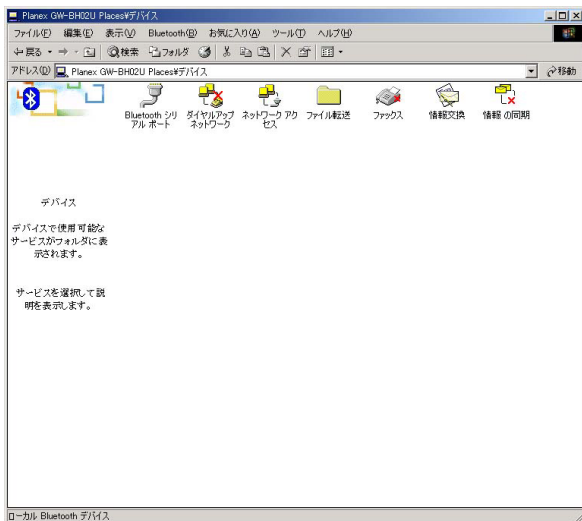
2. 「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティのメインウィンドウが表示されます。メインウィンドウには「デバイス」、「Bluetooth全体」、「Bluetooth接続の追加」の3つのアイコンが表示されます。



2.デバイス

「デバイス」では本製品のサポートするサービスの表示と設定が出来ます。

- 1.「デバイス」アイコンをダブルクリックするとサポートするサービスの一覧が表示されます。アイコンに×マークが付いているサービスは停止状態になっています。



- 2.各サービスのアイコンをクリックしてからウィンドウ左のプロパティをクリックするか、各サービスアイコンを右クリックして表示されるメニューからプロパティを選択すると、サービスのプロパティが表示されます。プロパティでは各サービスの設定が行えます。



Bluetoothシリアル

コンピュータとBluetooth機器をシリアルケーブル接続同様に無線で接続します。

「ポート」

Bluetooth接続でシリアルポートして使用するポート番号を指定します。



ダイヤルアップネットワーク

コンピュータが物理的にBluetoothデバイスと接続されたモデム (Bluetooth内蔵携帯電話など) を使用することができるようになります。

「モデム」

Bluetooth接続でダイヤルアップするモデムを指定します。



ネットワークアクセス

通常のLAN環境に接続されたサーバに対してクライアントがBluetoothを使って接続することでLAN環境にクライアントがアクセスできるようになります。本製品はサーバ側にもクライアント側にも使用できます。



ファイル転送

Bluetoothで接続されたコンピュータ同士でファイルの転送が行えます。ドラッグアンドドロップによるファイル操作やファイルの読み込みができます。

「共有ディレクトリ」

ファイル転送を使用してファイルの送受信を行うフォルダを指定します。ファイル転送で受信したファイルはここに格納されます。



ファックス

ファックス

コンピュータが物理的にBluetoothに接続された機器を利用して、無線でファックスを送ることができます。

「モデム」

Bluetooth接続でFAX送信するモデムを指定します。



情報交換

情報交換

コンピュータとBluetoothで接続された機器のあいだでPIMデータ、名刺ファイル、カレンダー、メモ、E-Mailデータの交換を行います。

「名刺の送信」

Bluetooth接続した相手から名刺ファイルを要求されたときに送信する名刺ファイルを指定します。

「アイテムの受信」

Bluetooth接続した相手から受け取ったファイルを格納するフォルダを指定します。また、受け取るファイルタイプを指定します。



情報の同期

コンピュータとBluetoothで接続された機器のあいだでPIMデータ等の同期を行えます。

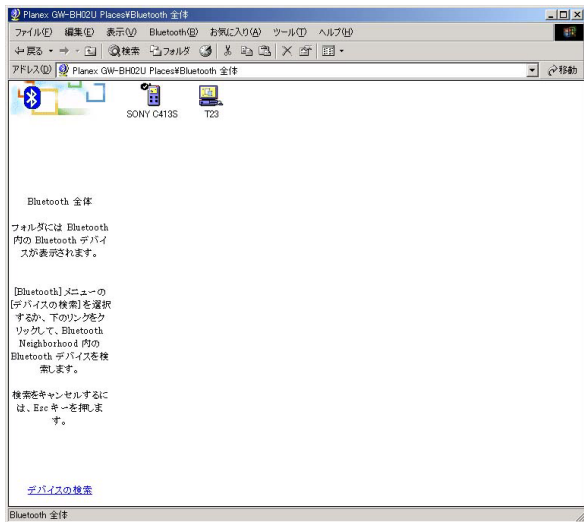
「アイテムの同期」

同期するファイルの置いてあるフォルダを指定します。また、同期するファイルタイプを指定します。

3. Bluetooth全体

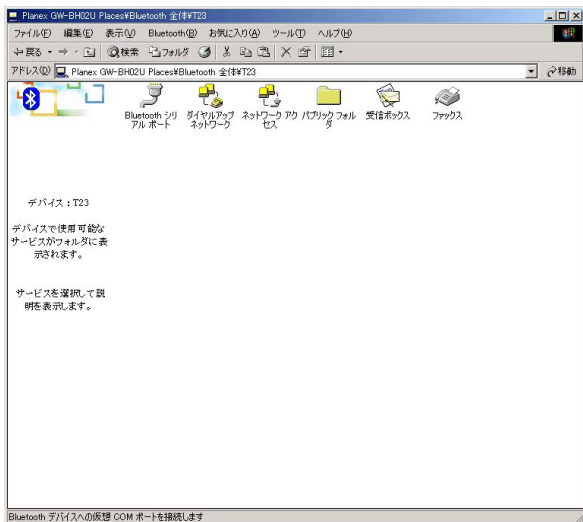
「Bluetooth全体」では範囲内のBluetoothデバイスの表示とサポートするサービスの表示が出来ます。

1. 「Bluetooth全体」アイコンをダブルクリックすると範囲内の接続可能なBluetoothデバイスの一覧が表示されます。



2. ウィンドウ左のデバイスの検索をクリックすると範囲内のデバイスを検索します。検索で見つかったBluetoothデバイスはウィンドウに自動的に表示されます。

- 3.表示されているBluetoothデバイスをクリックすると、Bluetoothデバイスがサポートしているサービスの一覧が表示されます。接続に使用するサービスをクリックすると接続されます。

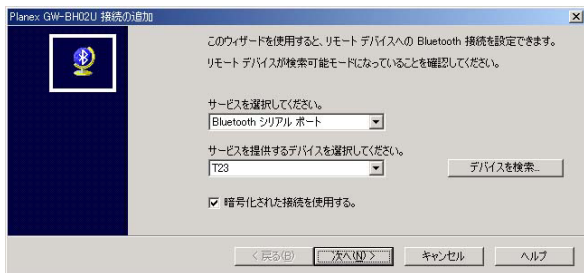


各サービスの使用方法は第4章を参照してください。

4. Bluetooth接続の追加

「Bluetooth接続の追加」ではメインウィンドウにBluetoothデバイスの接続のショートカットが作成できます。これにより頻繁に使用するデバイスとの接続が容易になります。

1. 「Bluetooth接続の追加」アイコンをクリックすると「Planex GW-BH02U 接続の追加」ウィザードが起動します。下記の項目を設定します。



「サービスを選択してください」

接続に使用するサービスを選択します。接続先のBluetoothデバイスがサポートしているサービスから選択してください。

「サービスを提供するデバイスを選択してください。」

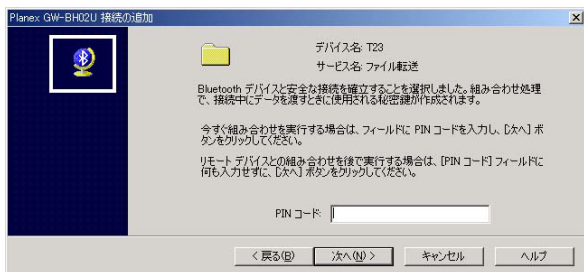
接続先のBluetoothデバイスを選択します。範囲内にあるデバイスがプルタブで選択できます。接続したいBluetoothデバイスが表示されないときは接続したいBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認して[デバイスを検索]ボタンをクリックしてください。

「暗号化された接続を使用する」

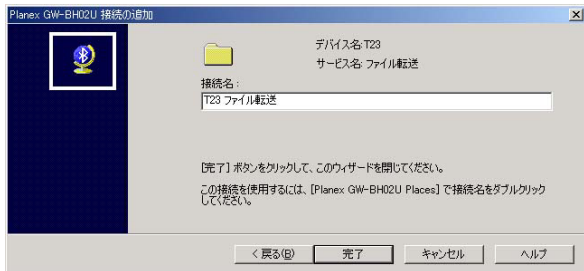
Bluetooth接続を暗号化するときにはチェックボックスにチェックを入れてください。

[次へ]ボタンをクリックしてください。

2.「暗号化された接続を使用する」にチェックしたときはPINコードの入力ウィンドウが表示されます。PINコードに最大16文字以内の英数字でコードを入力してください。もし、接続する度にPINコードの入力したいときにはPINコードを空白にしてください。[次へ]ボタンをクリックしてください。



3. 「接続名」を入力するウィンドウが表示されます。「接続名」に作成するショートカット名を入力してください。デフォルトでは「Bluetoothデバイス名 接続サービス名」になっています。[完了]ボタンをクリックしてください。メインウィンドウにショートカットが作成されます。



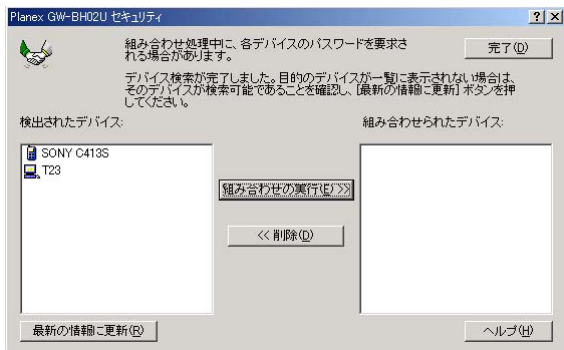
5. Bluetoothデバイスの組み合わせ

コンピュータとBluetoothデバイスを組み合わせる事で、接続が行うたびにアクセス情報を入力する必要がなくなります。組み合わせを設定したBluetoothデバイスとは、1つのリンクキーを共有し、接続するときにこのキーを交換します。

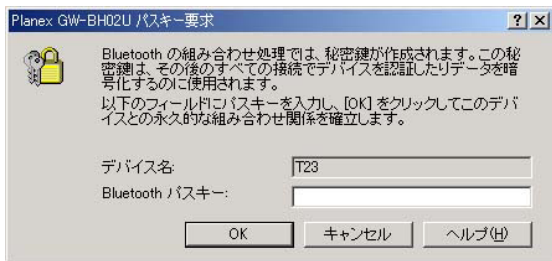
1. タスクトレイの「Bluetooth設定」アイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューから「セットアップ」「セキュリティ」を選択してください。



2. 「Planex GW-BH02U セキュリティ」ウィンドウが表示されます。
「検出されたデバイス」から組み合わせたいデバイスを選択して
[組み合わせの実行] ボタンをクリックしてください。



3. 「Planex GW-BH02U パスキー要求」ウィンドウが表示されます。
16文字以内の英数字でパスキーを入力して [OK] ボタンを押して
ください。



4. 「組み合わせられたデバイス」が追加されます。[OK] ボタンを
押してウィンドウを閉じてください。

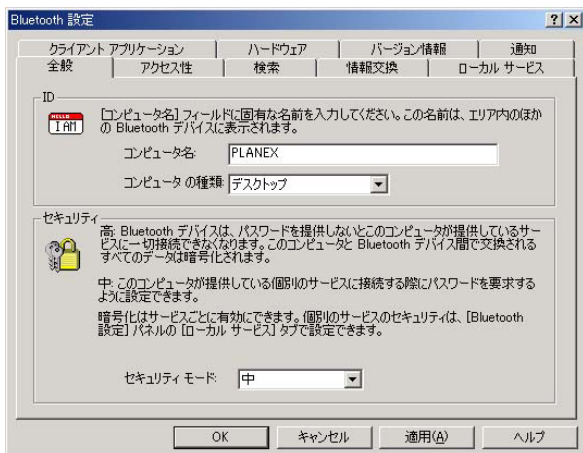
6. Bluetooth設定

ここでは本製品のBluetooth部分の基本設定について説明します。

- 1.メインウィンドウからデバイスをクリックして、ウィンドウの左側のプロパティをクリックするか、ツールバーの「Bluetooth」から「デバイスの設定」を選択してください。「Bluetooth設定」ウィンドウが表示されます。各タブでは以下の設定が行えます。

全般

「全般」タブではコンピュータの情報とセキュリティの設定を行います。



「コンピュータ名」

コンピュータの識別名です。他のBluetooth機器から接続されたときにユーザーが識別する為に使用します。任意の名称を入力してください。

「コンピュータの種類」

デスクトップまたはラップトップから選択してください。デスクトップを選択したときは他のBluetooth機器から据え置きデスクトップコンピュータとして認識されます。ラップトップを選択したときは他のBluetooth機器から移動型のノートタイプコンピュータとして認識されます。

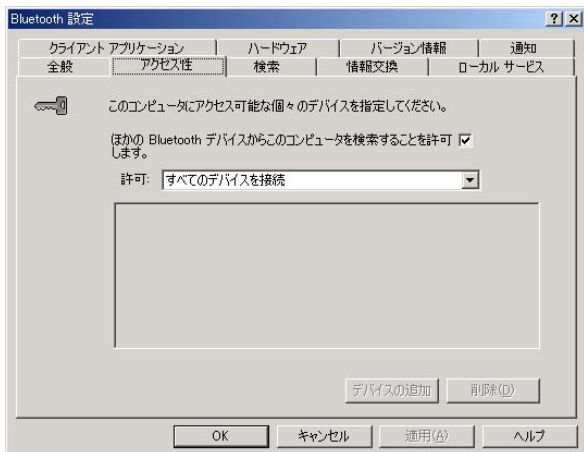
「セキュリティモード」

セキュリティの強度の設定をします。「中」または「強」のいずれかから選択してください。「中」に設定したときはコンピュータに他のBluetoothデバイスが接続するときの暗号化をサービスごとに設定できます。「強」に設定したときはコンピュータに他のBluetoothデバイスが接続するときにすべて暗号化されます。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

アクセス性

「アクセス性」タブではコンピュータにアクセスする事ができるBluetoothデバイスの設定が行えます。



「ほかのBluetoothデバイスからこのコンピュータを検索することを許可します」

このチェックボックスにチェックを入れると、他のBluetoothデバイスが検索した時にコンピュータを検出できるようにします。チェックを外した場合は他のBluetoothが検索を行った場合にコンピュータを検出できません。

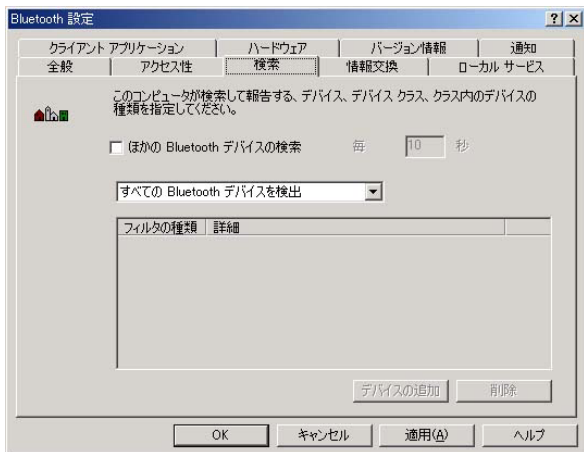
「許可」

コンピュータへのBluetoothデバイスの接続の許可について設定します。「デバイスを許可しない」、「すべてのデバイスを接続」、「組み合わせデバイスのみ接続」、「下の一覧のデバイスのみ接続」のいずれかから選択します。「デバイスを許可しない」に設定したときは、他のBluetoothデバイスからの接続をすべて拒否します。「すべてのデバイスを接続」を選択したときは他のすべてのBluetooth機器から接続できます。「組み合わせデバイスのみ接続」を選択したときはコンピュータとデバイスの組み合わせをしたBluetoothデバイスのみ接続できます。「下の一覧のデバイスのみ接続」を選択したときは[デバイスの追加]ボタンを押して許可するBluetoothデバイスを登録します。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

検索

「検索」タブではコンピュータが他のBluetoothデバイスを検索するときの設定します。



「ほかのBluetoothデバイスの検索」

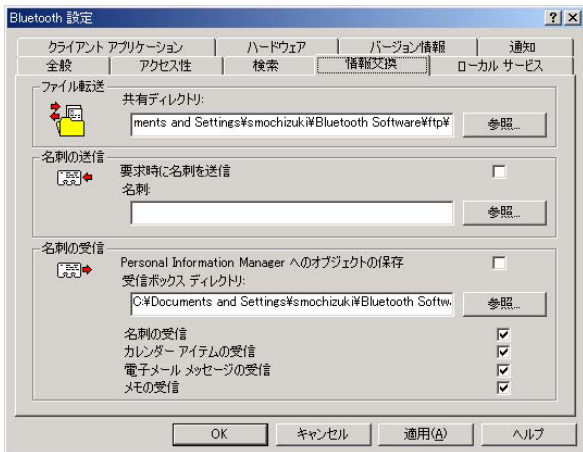
このチェックボックスにチェックを入れたときは設定された時間ごとに自動的にBluetoothデバイスの検索を行います。検索の間隔は0～60秒の間で設定できます。

プルタブメニューから「すべてのBluetoothデバイスの検索」を選択したときは、範囲内にあるすべてのBluetoothデバイスを検出します。「選択したBluetoothデバイスのみ検索」を設定した場合は、[デバイスの追加] ボタンをクリックして検出したいBluetoothデバイスのタイプを登録してください。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

情報交換

「情報交換」タブでは、サービスのうち「情報交換」と「ファイル転送」で使用するフォルダを指定します。



「ファイル転送」

「ファイル転送」サービスで使用するフォルダを指定します。ここで指定したフォルダに他のBluetoothデバイスからアクセスされます。

「名刺の送信」

ここでは他のBluetoothデバイスから名刺の要求があったときの設定をします。チェックボックスにチェックをいれたときは名刺の要求があった場合に、指定した名刺ファイルを自動的に送信します。「名刺」に送信する名刺ファイルを指定してください。

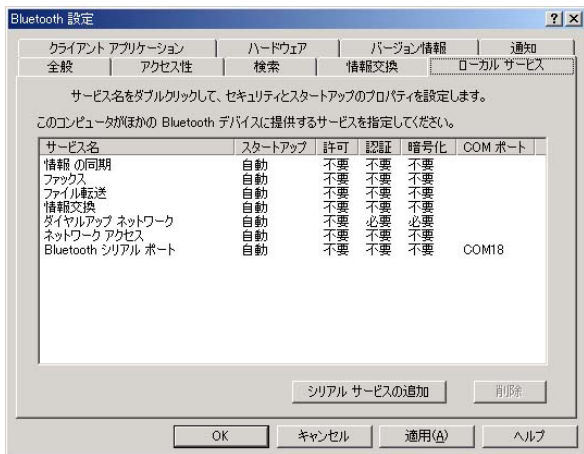
「受信ボックスディレクトリ」

ここでは他のBluetoothデバイスから受け取ったファイルを格納するフォルダと、受け取るデータを指定します。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

ローカルサービス

「ローカルサービス」タブではコンピュータがサポートしている各サービスの起動とセキュリティの設定が行えます。設定したいサービス名をダブルクリックしてください。



「サービス名」

フィールドにサービス名を入力します（英数字 1 ~ 99 文字）。ほとんどの場合はデフォルトのサービス名を使用できます。ただし、同じ種類のデバイスが複数台ある場合や、1 つのデバイスが同じ種類のサービスを複数提供する（Bluetooth シリアル ポートサービスのみ可能）場合は、サービス名をカスタマイズする必要があります。

「スタートアップ」

有効にすると、Bluetooth for Windows の初期化時にサービスが開始します。デフォルトでは有効になっています。スタートアップが有効になっていない場合は、サービスを手動で開始できます。

「許可」

有効にすると、リモート デバイスがこのサービスに接続するには、サーバーのオペレータの確認が必要になります。デフォルトでは無効になっています。許可を有効にすると、認証が自動的に有効になります。

「暗号化」

有効にすると、Bluetooth のサーバーとクライアントの間で交換されるデータが暗号化されます。デフォルトでは無効になっています。暗号化は Bluetooth 接続にだけ適用されます。この設定は、モデムや LAN で送信されるデータには適用されません。暗号化を有効にすると、認証が自動的に有効になります。

「認証」

有効にすると、接続が確立されるために、クライアントとサーバーがパスキーまたはリンク キーを交換する必要があります。デフォルトでは無効になっています。認証が完了すると、デバイスは自動的に組み合わせが設定されます。

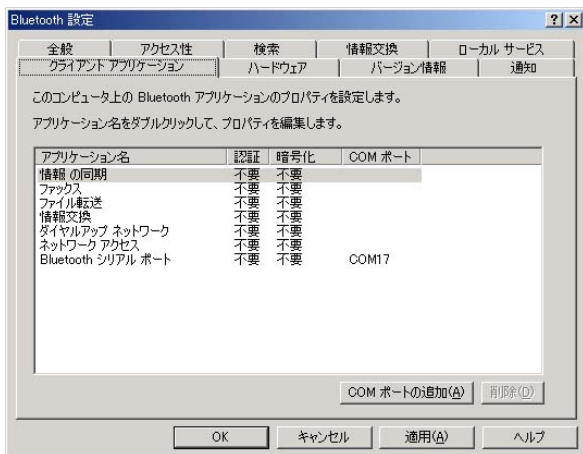
「COMポートの追加」

このボタンをクリックするとローカルサービスに「Bluetoothシリアルポートサービス」を追加できます。追加するCOMポート番号を指定してください。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

クライアントアプリケーション

「クライアントアプリケーション」タブではコンピュータがサポートしているアプリケーションのセキュリティの設定が行えます。設定したいアプリケーション名をダブルクリックしてください。



「暗号化」

有効にすると、Bluetooth のサーバーとクライアントの間で交換されるデータが暗号化されます。デフォルトでは無効になっています。暗号化は Bluetooth 接続にだけ適用されます。この設定は、モデムや LAN で送信されるデータには適用されません。暗号化を有効にすると、認証が自動的に有効になります。

「認証」

効にすると、接続が確立されるために、クライアントとサーバーがパスキーまたはリンク キーを交換する必要があります。デフォルトでは無効になっています。認証が完了すると、デバイスは自動的に組み合わせが設定されます。

「COMポートの追加」

このボタンをクリックするとローカルサービスに「Bluetoothシリアルポートサービス」を追加できます。追加するCOMポート番号を指定してください。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

ハードウェア

「ハードウェア」タブでは本製品の情報が表示されます。



「デバイス」

デバイスの名前です。本製品の型番が表示されます。

「ファームウェアリビジョン」

本製品に書き込まれているファームウェアのバージョン番号です。

「デバイスステータス」

デバイスが動作状態が表示されます。

「デバイスアドレス」

本製品のMACアドレスです。

「HCIバージョン」

Host Controller Interfaceが準拠するBluetooth仕様のバージョン番号です。

「HCIリビジョン」

Host Controller Interfaceが準拠するBluetooth仕様のリビジョン番号です。

「LMPバージョン」

Link Manager Protocolが準拠するBluetooth仕様のリビジョン番号です。

「LMPサブバージョン」

Link Manager Protocolが準拠するBluetooth仕様のサブバージョン番号です。

[詳細]

このボタンを押すと[詳細設定]ウィンドウが表示されます。ここでは通信能力の設定を選択できます。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

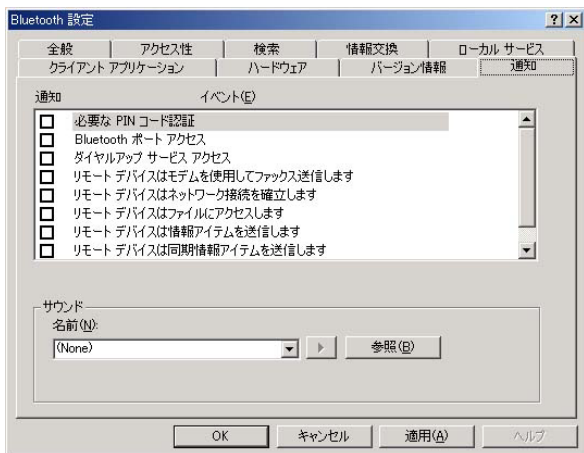
バージョン情報

「バージョン情報」タブではインストールされている各ソフトウェアモジュールのバージョンが表示されます。



通知

「通知」タブではサウンド(Windows *.wav ファイル)を特定の Bluetooth イベントに関連付けることができます。



関連付けたいイベントの通知チェックボックスにチェックを入れてください。

設定が終了したら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。設定が保存されます。

4. 各サービスの使用方法

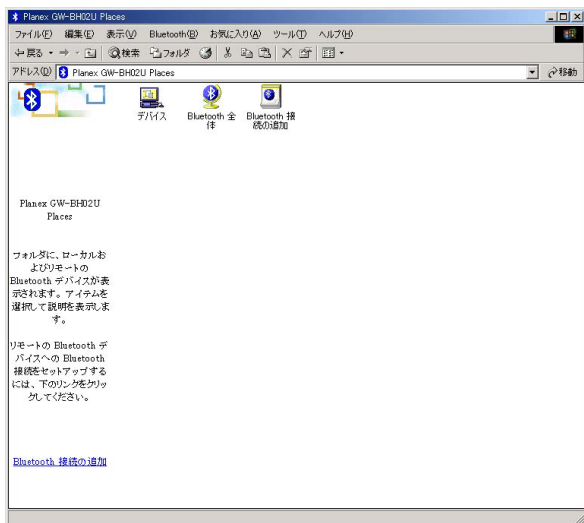
本章では各サービスの設定方法および使用方法について説明します。

1. Bluetoothシリアルポート

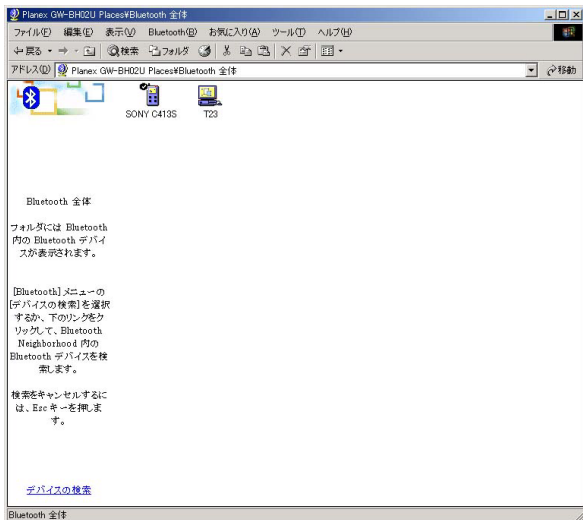
「Bluetoothシリアルポート」サービスでは、2つのBluetoothデバイスが仮想通信ポート間で無線接続を確立し、デバイス同士がシリアルケーブルで接続されているのと同等に使用できます。

Bluetoothシリアルポートの接続

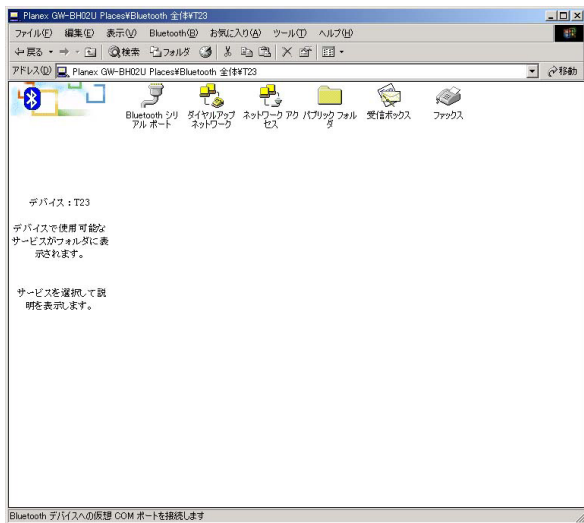
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「Bluetoothシリアルポート」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



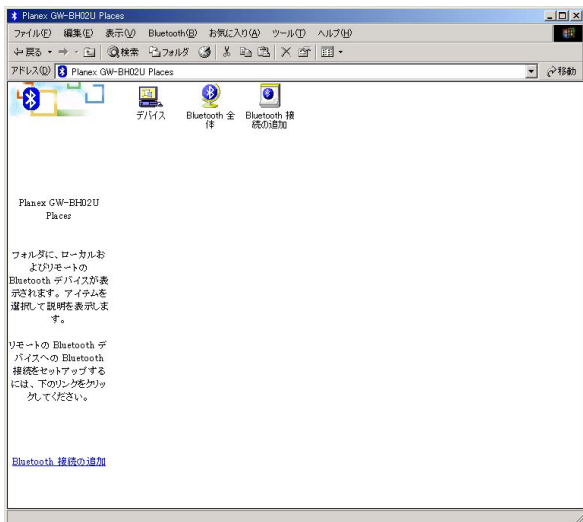
3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「Bluetoothシリアルポート」アイコンをクリックしてください。アイコンの色が変わり、Bluetoothデバイスが「Bluetoothシリアルポート」サービスで接続されます。シリアルポートを使用するアプリケーションでCOMポートを「Bluetoothシリアルポート」に設定して使用してください。



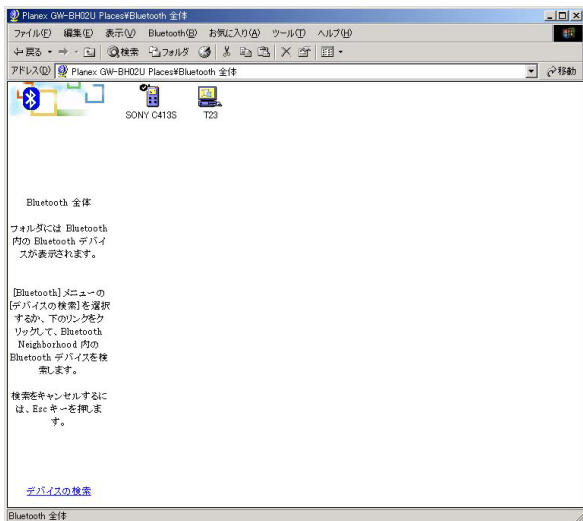
セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

Bluetoothシリアルポートの切断

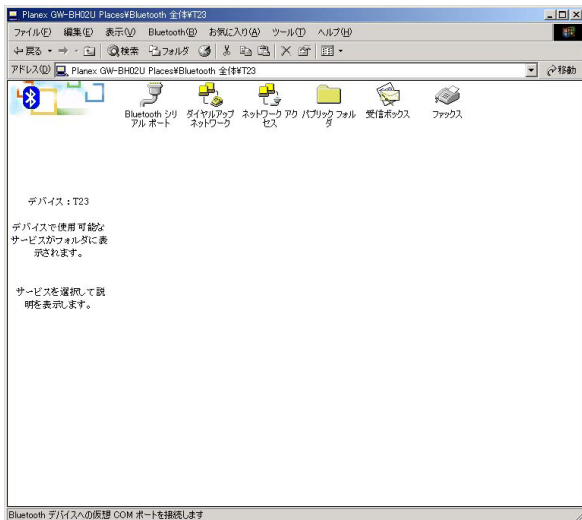
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「Bluetoothシリアルポート」サービスを使用して接続されているデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「Bluetoothシリアルポート」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「切断」を選択してください。「Bluetoothシリアルポート」サービスが切断されます。

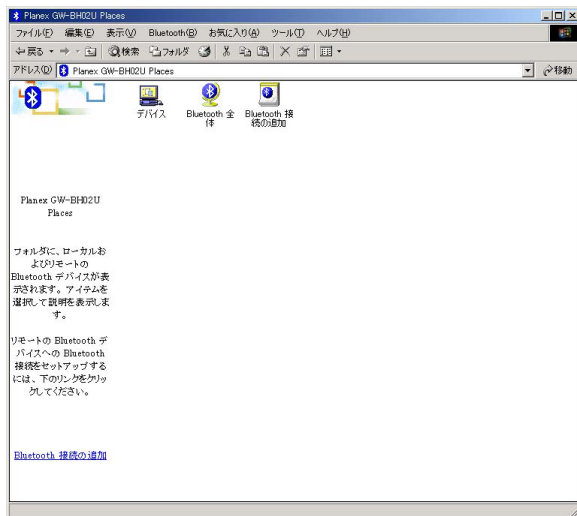


2.ダイヤルアップネットワーク

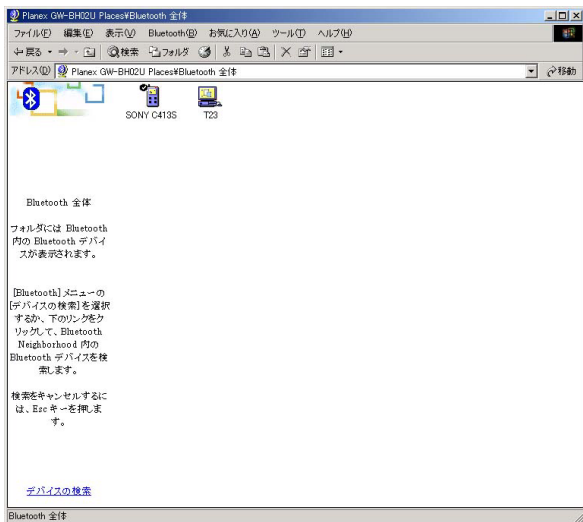
コンピュータは、「ダイヤルアップネットワーク」サービスによって、他のBluetoothデバイスに物理的に接続されたモデムを使用できます。「ダイヤルアップネットワーク」サービスによって無線接続が確立されたコンピュータは、ローカルデバイスであるかのようにBluetoothデバイスのモデムを使用できます。

ダイヤルアップネットワークの接続

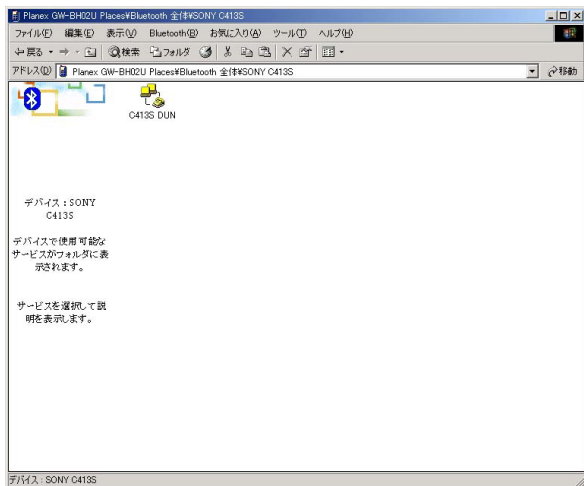
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「Bluetoothシリアルポート」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。
「ダイヤルアップネットワーク」アイコンをクリックしてください。



セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

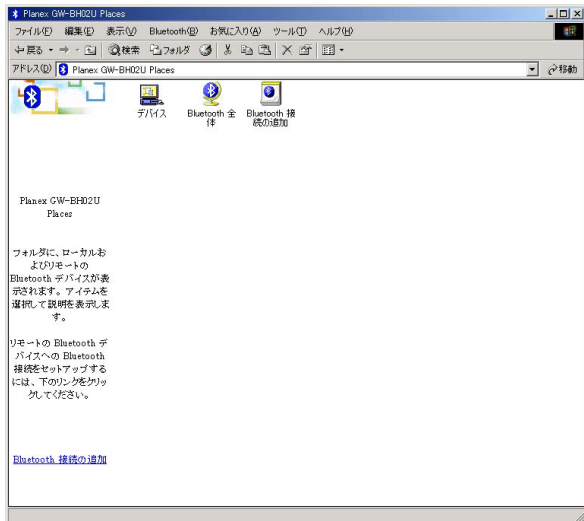
- 4.ダイアルアップウィンドウが表示されます。ユーザー名とパスワードおよび電話番号を入力してください。[ダイヤル]ボタンをクリックするとダイアルアップ接続されます。



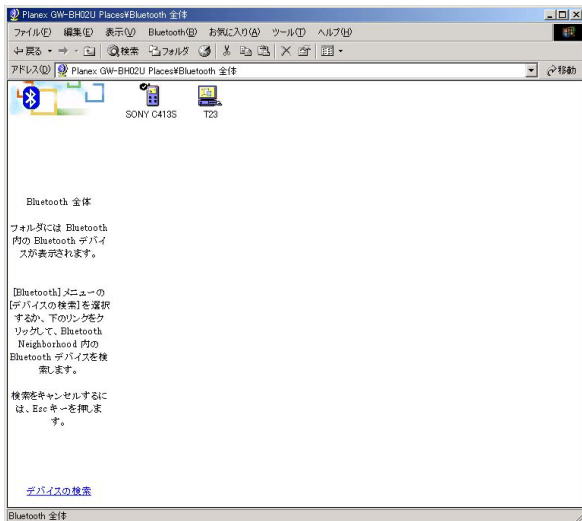
ユーザー名とパスワードおよび電話番号はご契約されているISPの設定を入力してください。また、DNSなどの設定が必要なときは[プロパティ]ボタンをクリックして設定してください。詳細な設定内容はご契約のISP様または携帯電話会社様にご確認ください。

ダイヤルアップネットワークの切断

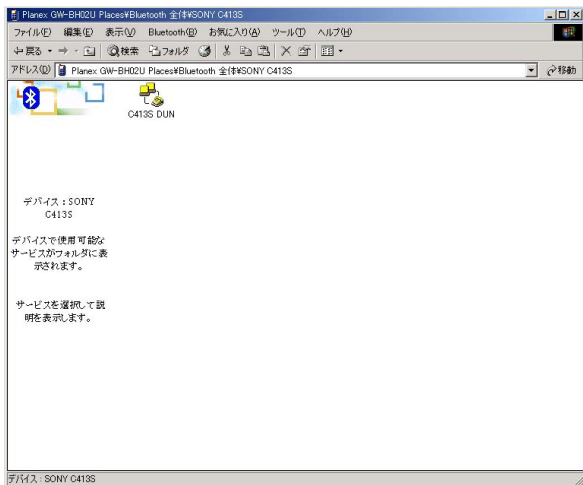
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「ダイヤルアップネットワーク」サービスサービスを使用して接続されているデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「ダイヤルアップネットワーク」サービスアイコンを右クリックして表示されるメニューから「ダイヤルアップネットワークの切断」を選択してください。「ダイヤルアップネットワーク」サービスが切断されます。



3.ネットワークアクセス

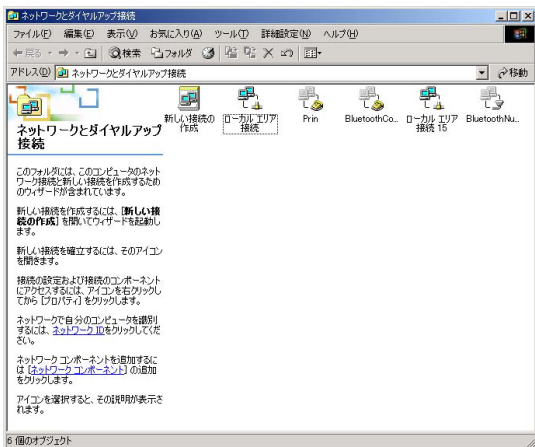
コンピュータは、「ネットワークアクセス」サービスによって、別のBluetoothデバイスに物理的に接続されたLAN接続を使用できます。

Bluetooth LANアクセスサーバの準備

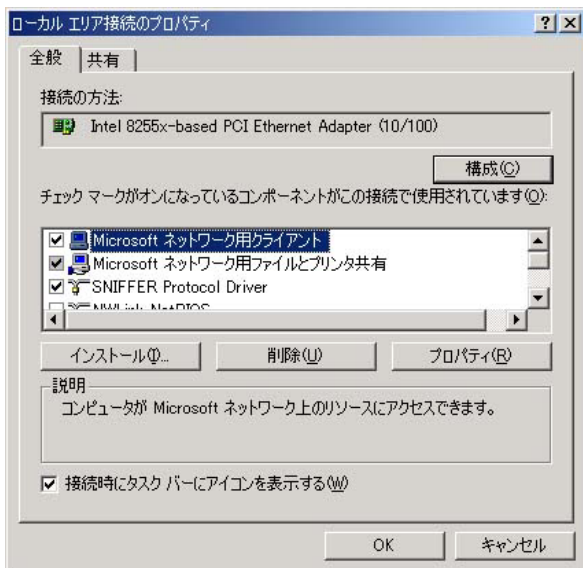
本製品はネットワークアクセスサービスを利用して別のBluetoothデバイスをネットワーク接続させるためのサーバになる事ができます。サーバになるには物理的にLANに接続されており、OSがWindows 2000またはWindows XPである必要があります。

Windows 2000

- 1.コンピュータのコントロールパネルから「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開いてください。



- 2.コンピュータに接続されているLANアダプタの「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



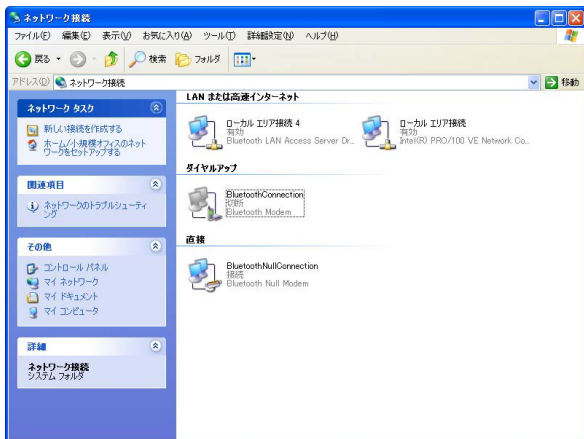
3. 「共有」タブを開いてください。「インターネット接続の共有」にあるチェックボックスにチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



4. 「ネットワークとダイアルアップ接続」ウィンドウを閉じてください。以上でサーバの設定は完了です。「ネットワークアクセス」サービスを持ったBluetoothデバイスがネットワークにアクセスできるようになります。

Windows XP

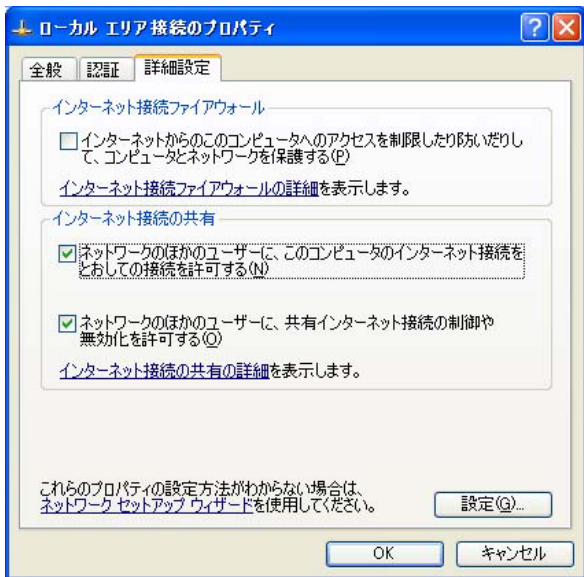
1. コンピュータのコントロールパネルから「ネットワーク接続」を開いてください。



2. コンピュータに接続されているLANアダプタの「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



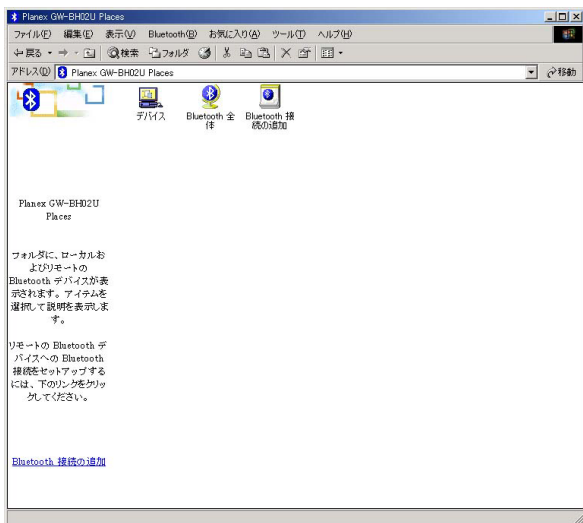
3. 「詳細設定」タブを開いてください。「インターネット接続の共有」にあるチェックボックスにチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



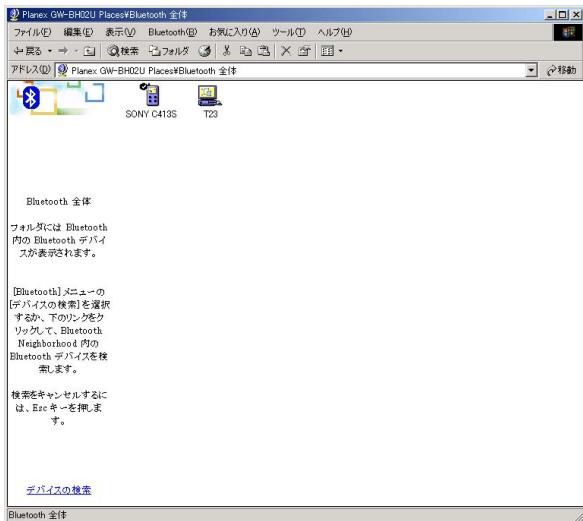
4. 「ネットワーク接続」ウィンドウを閉じてください。以上でサーバの設定は完了です。「ネットワークアクセス」サービスを持ったBluetoothデバイスがネットワークにアクセスできるようになります。

ネットワークアクセスの接続

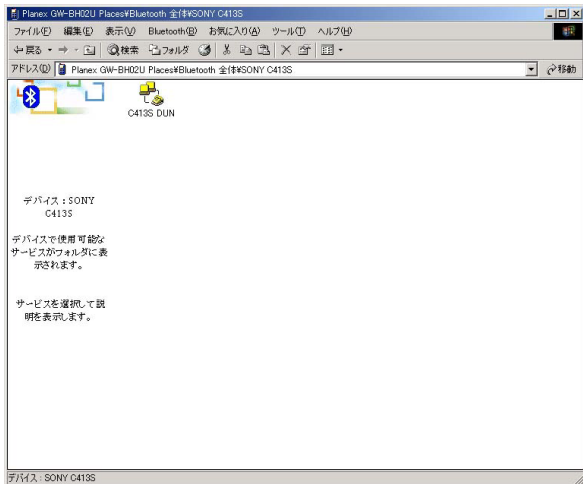
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「Bluetoothシリアルポート」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。
「ネットワークアクセス」アイコンをクリックしてください。



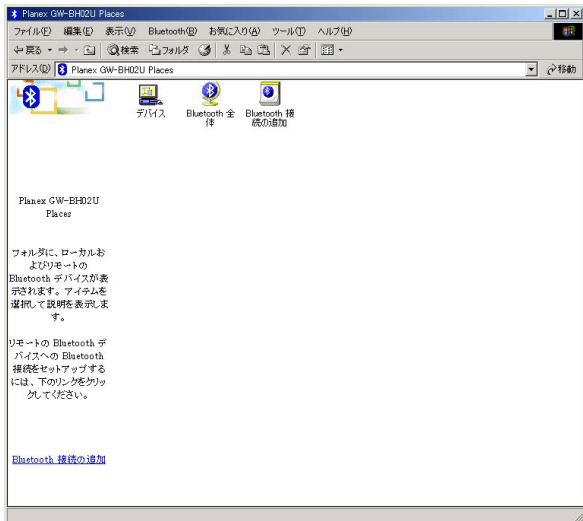
セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

4. BluetoothNullConnectionウィンドウが表示されます。ネットワークログインにユーザー名とパスワードが必要な場合は入力してください。[接続]ボタンをクリックするとネットワーク接続されます。

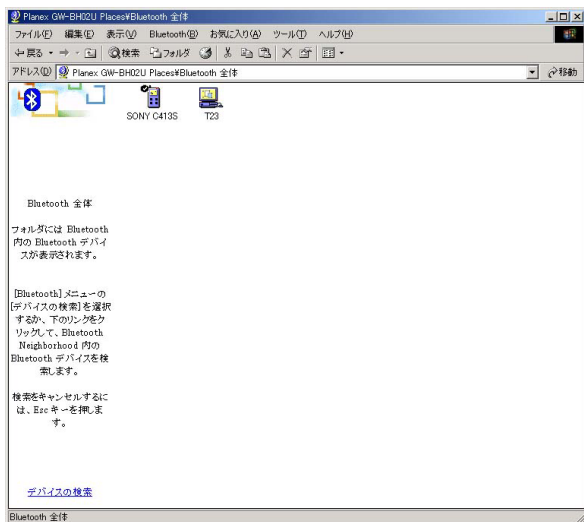


ネットワークアクセスの切断

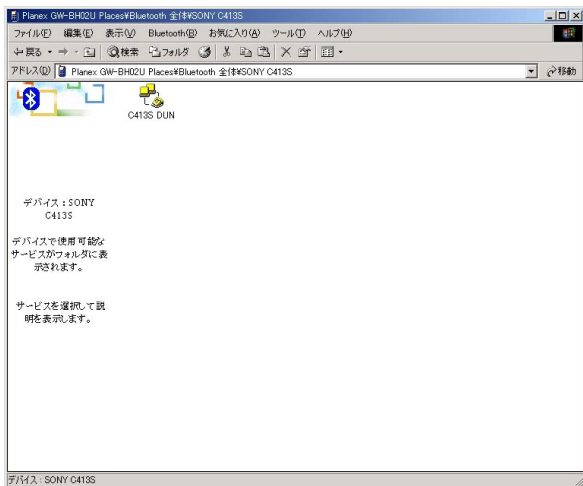
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「ネットワークアクセス」サービスサービスを使用して接続されているデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「ネットワークアクセス」サービスアイコンを右クリックして表示されるメニューから「ネットワークアクセスの切断」を選択してください。「ネットワークアクセス」サービスが切断されます。

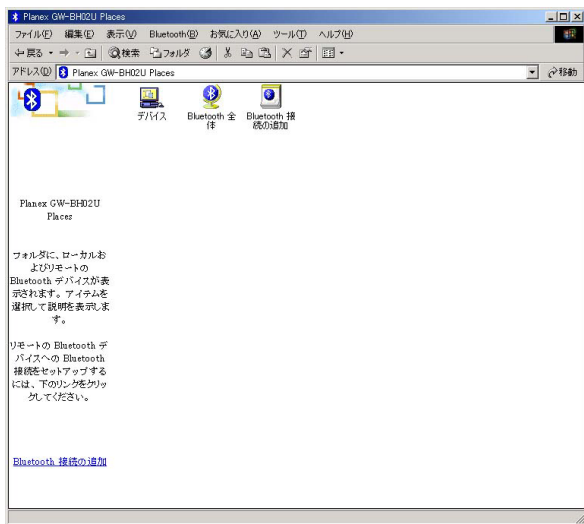


4.ファイル転送

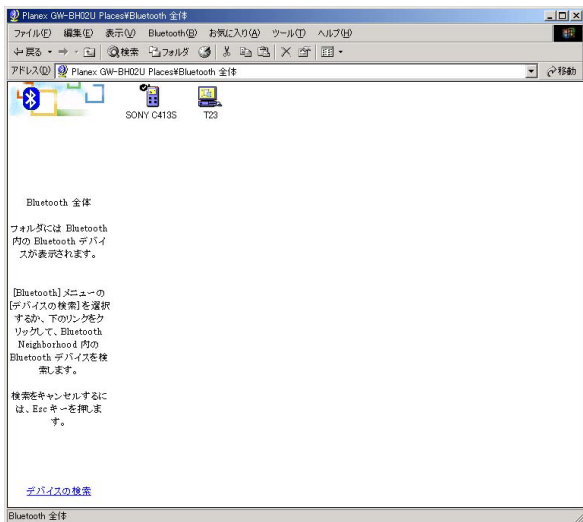
ファイル転送サービスを使用すると、コンピュータから別のBluetoothデバイスのデフォルトのファイル転送ディレクトリと、ディレクトリ内のフォルダやファイルに対してファイル操作を実行できます。

ファイル転送の接続

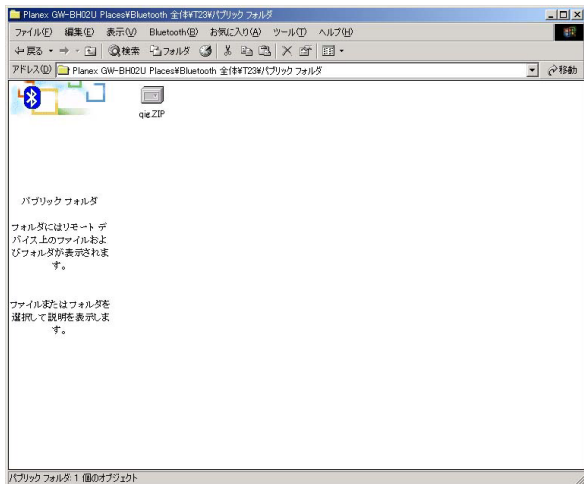
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「ファイル転送」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「ファイル転送」アイコンをクリックしてください。アイコンの色が変わり、Bluetoothデバイスが「ファイル転送」サービスで接続されます。さらにもう一度アイコンをクリックすると、接続したBluetoothデバイスのファイル転送フォルダが表示されます。



セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

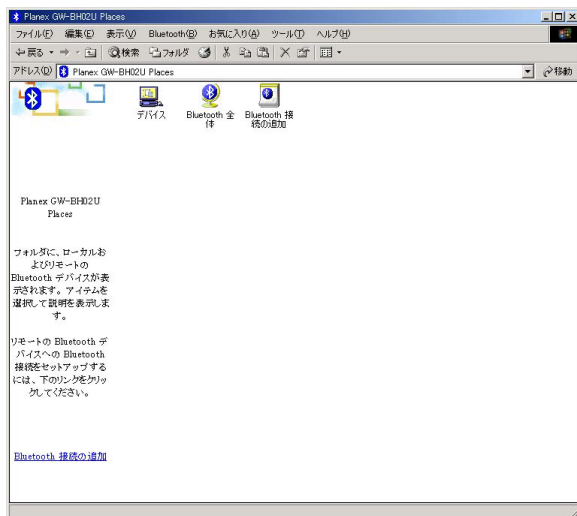
4. 接続されたファイル転送フォルダには通常のエクスプローラと同様の操作が行えます。ファイルを転送する場合にはフォルダに対して転送するファイルをドラッグアンドドロップしてください。また、フォルダ内のファイルをコンピュータの任意のフォルダにドラッグアンドドロップする事で、ファイルの受信をすることもできます。

5.ファックス

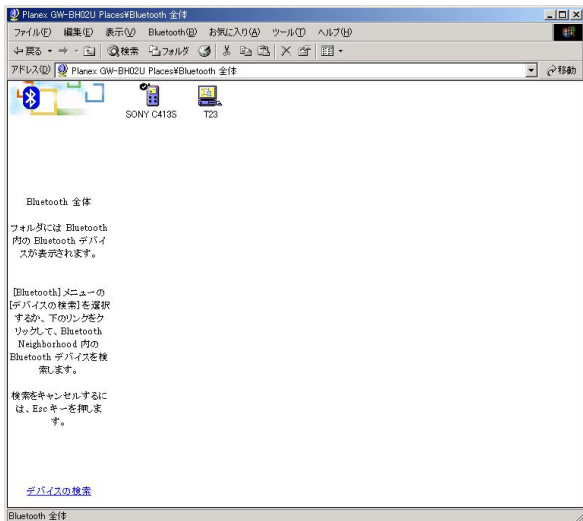
コンピュータは、「ファックス」サービスによって、他のBluetoothデバイスに物理的に接続されたモデムを使用できます。「ファックス」サービスによって無線接続が確立されたコンピュータは、ローカルデバイスであるかのようにBluetoothデバイスのモデムを使用できます。

ファックスの接続

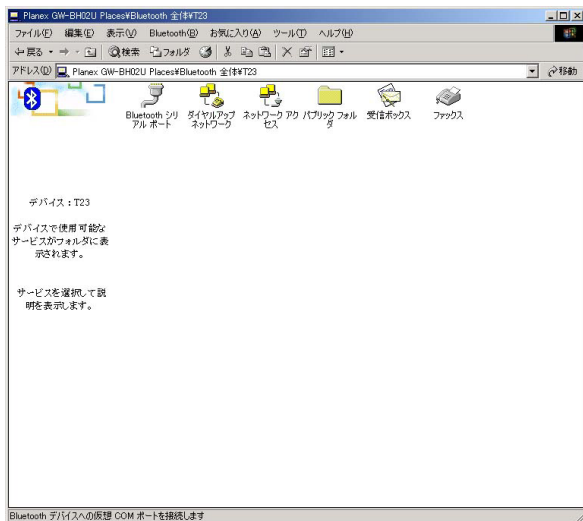
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「ファックス」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



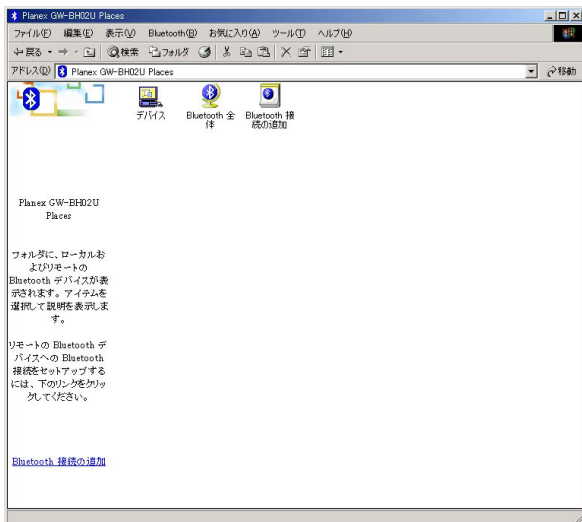
3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「ファックス」アイコンをクリックしてください。アイコンの色が変わり、Bluetoothデバイスが「ファックス」サービスで接続されます。ファックスを使用するアプリケーションで送信用モデムを「ファックス」に設定して使用してください。



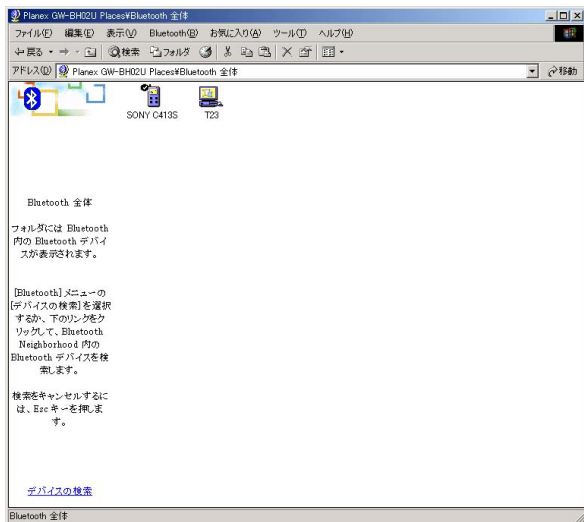
セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

ファックスの切断

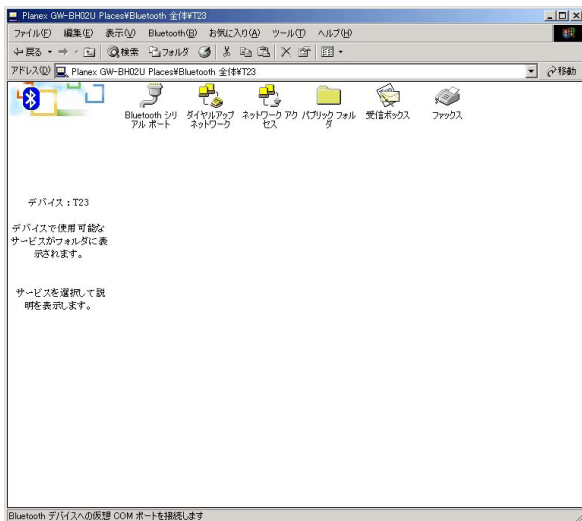
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「ファックス」サービスを使用して接続されているデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「ファックス」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「切断」を選択してください。「ファックス」サービスが切断されます。



6.情報交換

情報交換サービスでは、携帯型情報端末やノートブック コンピュータなど、別のBluetoothデバイスとの間でMicrosoft Outlookのアイテムを送受信できます。

サポートされる Outlook アイテム

名刺 (* .vcf と * .vcd)

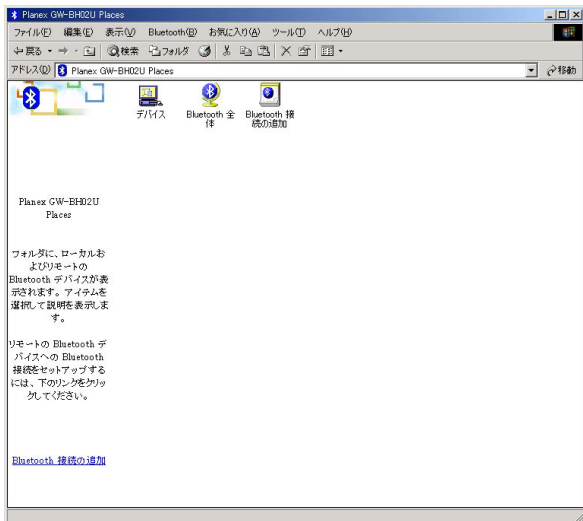
カレンダーのエントリ (* .vcs)

メモ (* .vnt)

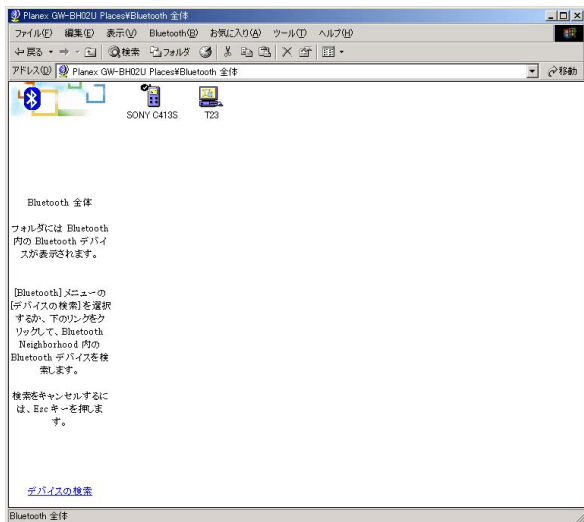
メッセージ (* .vmg)

情報交換の接続

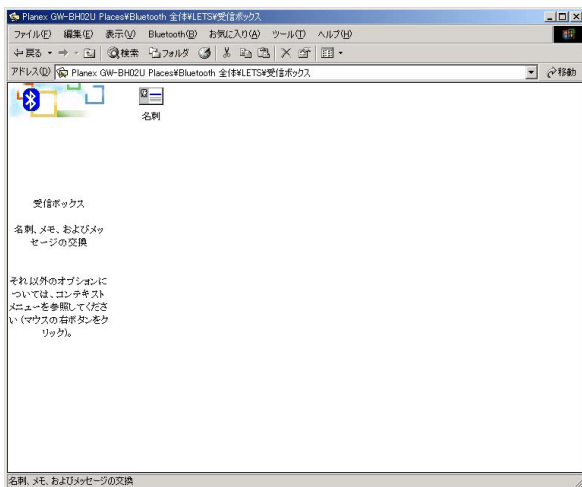
1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



2. メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「情報交換」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「情報交換」アイコンを右クリックしてください。表示されるポップアップメニューから送信または受信したいアイテムを選択してください。交換の場合は送受信を同時に行います。「情報交換」アイコンをクリックすると受信できるアイテムの一覧が表示されます。受信したいアイテムをダブルクリックすると受信できます。



セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

7.情報の同期

情報の同期サービスを使用して、コンピュータと他のBluetoothデバイスの間で情報（Personal Information Managerデータベースなど）を同期させます。

Bluetooth for Windows では、IrMC v1.1 をサポートし v2.1 vCard フォーマットを交換するデバイスとの同期がサポートされます。新しいアプリケーションで初めて情報の同期を使用するときは、データベースの同期に数分間かかる可能性があります。このときには、両方のデバイスのデータがマージされ、重複するエントリが削除され、更新されたデータベースが両方のデバイスにコピーされます。

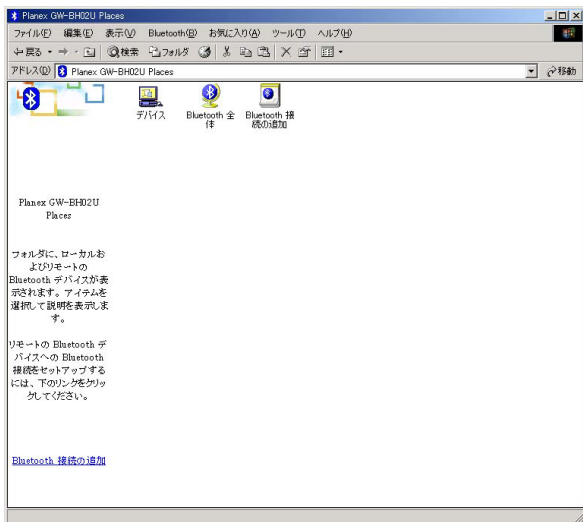
その後、同じアプリケーションで情報の同期を使用するときは、処理時間は短くなります。このときは、データベースを最後に同期させた後で変更された箇所だけが交換されます。

Bluetooth for Windows のこのリリースでサポートされている Personal Information Manager は、Microsoft Outlook だけです。Microsoft Outlook では、エントリの重複が許可されるので、同期処理ですべての重複エントリが交換されるとは限りません。

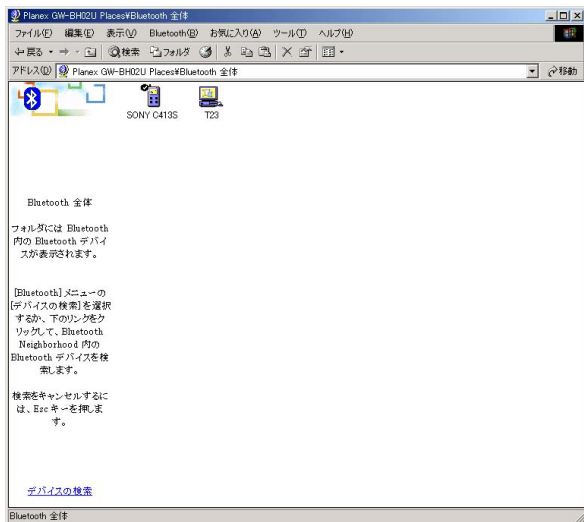
注意 Outlook のデフォルトの連絡先フォルダだけが同期化されます。サブフォルダ内のアイテムは同期化されません。デフォルトのフォルダからサブフォルダに移動したアイテムは、次に同期を行ったときに削除されたとみなされます。

情報の同期の接続

1. デスクトップ上の「Planex GW-BH02U Places」アイコンまたは、タスクトレイ内のBluetooth設定アイコンをダブルクリックしてください。「Planex GW-BH02U Places」ユーティリティが起動します。



- 2.メインメニューから「Bluetooth全体」アイコンをクリックしてください。表示されているBluetoothデバイスから「情報の同期」サービスを使用して接続するデバイスのアイコンをクリックしてください。



3. Bluetoothデバイスのサポートするサービス一覧が表示されます。「ファックス」アイコンをクリックしてください。情報の同期が開始されます。セキュリティ設定によっては接続時に認証キーの入力を求められる事があります。その場合は双方のデバイスに同一の認証キーを入力してください。

付録A. トラブルシューティング

ここでは本製品の使用時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

デバイスの組み合わせに登録したBluetoothデバイスに接続できない

デバイスの組み合わせは、組み合わせるBluetoothデバイスが範囲内にないか、Bluetoothデバイスの電源が入っていないか、常に [Planex GW-BH02U Places] に表示されます。組み合わせのBluetoothデバイスが電波の到達範囲内にあり、電源が入っていることを確認してください。

組み合わされていないBluetoothデバイスのサービスを検索できない

Bluetoothデバイスに電源が入っていないか、デバイスが範囲外にある可能性があります。

1. Bluetoothデバイスに電源が入っていることを確認します。
2. Bluetoothデバイスが接続可能なモードになっていることを確認します ([Bluetooth 設定] パネルの [アクセス性] タブ)。
3. デバイスの検索を実行し、デバイスが範囲内にあることを確認します。

ダイヤルアップ ネットワーク サービスが起動しない

ダイヤルアップ ネットワーク サービスが起動するには、正しく設定されたモデムがサーバーに接続されている必要があります。モデムを、サーバーのローカル デバイスとして使用できることを確認します。

- 1.[Bluetooth 設定] パネル の [ローカル サービス] タブで、ダイヤルアップ ネットワーク サービスをダブルクリックします。
- 2.[モデム] フィールドの下矢印をクリックし、ダイヤルアップに使用するモデムを選択します。
- 3.[OK] ボタンをクリックします。
- 4.[OK] ボタンをクリックして [Bluetooth 設定] パネルを閉じます。

付録B.製品仕様

< 準拠する規格 >

Bluetooth Ver1.1、USB Rev1.1

< 出力クラス >

class2

< 規格認定 >

FCC Part15-205、209、247、ETS300-328、300-826、ARIB
STD-T66

< 無線周波数範囲 >

2400 ~ 2482.5MHz

< 変調方式 >

FH-SS (周波数ホッピング方式)

< アンテナタイプ >

2dBi On-Board Integrated Chip

< 通信距離 >

20m (屋内見通し距離)

< データ転送速度 >

723.2Kbps (非対称型通信時)

433.9Kbps (対称型通信時)

< 消費電力 >

61mA (送信時)

56mA (受信時)

< 外形寸法 >

46 × 18.6 × 9.5 (L × W × H)

< 重量 >

8g